

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回太子町総合教育会議																
開催の日時	令和5年11月21日（火）午前10時30分～午前11時30分																
開催の場所	太子町役場 行政棟3階 ホール																
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">（町長） 沖汐 守彦</td> <td style="width: 50%;">（教育長） 糸井香代子</td> </tr> <tr> <td>（副町長） 榮藤 雅雄</td> <td>（教育委員） 福田 秀樹</td> </tr> <tr> <td>（総務部長） 森田 好紀</td> <td>（教育委員） 福本 充治</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部長） 嶋津 一弥</td> <td>（教育委員） 杉本 泰代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育委員） 竹澤 秀代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育次長） 森 文彰</td> </tr> </table>	（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子	（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福田 秀樹	（総務部長） 森田 好紀	（教育委員） 福本 充治	（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代		（教育委員） 竹澤 秀代		（教育次長） 森 文彰				
（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子																
（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福田 秀樹																
（総務部長） 森田 好紀	（教育委員） 福本 充治																
（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代																
	（教育委員） 竹澤 秀代																
	（教育次長） 森 文彰																
陪席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">陪席者（総務部総務課長）</td> <td style="width: 50%;">中井 義之</td> </tr> <tr> <td>（総務部財政課長）</td> <td>佐々木信人</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部社会福祉課長）</td> <td>肥塚 馨</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会管理課長）</td> <td>改野 学由</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会社会教育課長）</td> <td>大谷 康弘</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会文化推進課長）</td> <td>森本 麻友</td> </tr> <tr> <td>事務局（総務部企画政策課長）</td> <td>熊谷 恵之</td> </tr> <tr> <td>（総務部企画政策課係長）</td> <td>井出 洋平</td> </tr> </table>	陪席者（総務部総務課長）	中井 義之	（総務部財政課長）	佐々木信人	（生活福祉部社会福祉課長）	肥塚 馨	（教育委員会管理課長）	改野 学由	（教育委員会社会教育課長）	大谷 康弘	（教育委員会文化推進課長）	森本 麻友	事務局（総務部企画政策課長）	熊谷 恵之	（総務部企画政策課係長）	井出 洋平
陪席者（総務部総務課長）	中井 義之																
（総務部財政課長）	佐々木信人																
（生活福祉部社会福祉課長）	肥塚 馨																
（教育委員会管理課長）	改野 学由																
（教育委員会社会教育課長）	大谷 康弘																
（教育委員会文化推進課長）	森本 麻友																
事務局（総務部企画政策課長）	熊谷 恵之																
（総務部企画政策課係長）	井出 洋平																
傍聴者	なし																
議事	<p>(1) 令和6年度の組織改正に向けた子ども政策の一元化の進捗状況等について</p> <p>(2) 令和6年度教育委員会各所管の重点項目について</p>																
会議の概要	別紙議事録のとおり																
公開・非公開の区分	公開																
使用した資料	次第・令和5年度第2回太子町総合教育会議資料																
連絡先	<p>総務部企画政策課</p> <p>TEL:079-277-5998 FAX:079-276-3892</p>																

1 開会

事務局

(熊谷企画政策課長)

失礼いたします。定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第2回太子町総合教育会議を開会いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます、企画政策課の熊谷でございます。よろしくお願いいたします。

まずはじめに、沖汐町長からご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

沖汐町長

本日は、大変お忙しい中、定例教育委員会に引き続き、令和5年度第2回太子町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、平素は、町教育行政の運営に格別のご配慮を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、8月の第1回の本会議より、早くも3か月強が経過いたしました。今回の第2回の会議においては、前回に引き続き、町行政改革推進本部や専門部会で検討を進めている「令和6年度の組織改正に向けた子ども政策の一元化」について、現時点での進捗状況等を共有させていただければと考えております。

また、今月においては、私自身、複数回国や省庁へ出向き、様々な予算に係る要望等を行ってまいりましたが、12月に入りましたら、本町の新年度の予算編成に係る一次査定も始まります。これに関連し、令和6年度教育委員会各所管の重点項目について、最小の経費で最大の効果を発揮できますよう、特に注力すべき点などについて意見交換ができれば幸いです。

限られた時間ではございますが、本町教育のビジョンや課題を共有し、さらに連携・協力して、教育行政を推進していくことができればと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

(熊谷企画政策課長)

それではまず、この会議の構成員を確認させていただきます。

お手元の資料の1ページに構成員名簿をつけさせていただいております。第1回と同様、この名簿のとおりでございますので、よろしくお願いいたします。

また、陪席者として町長部局より総務課長、財政課長、社会福祉課長、教育委員会より管理課長、社会教育課長、文化推進課長が出席しております。

なお、事務局は、企画政策課の 私熊谷 と 井出 が担当いたします。

3 議事録署名委員の選定

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「3」、議事録署名委員の選定につきましては、本日は 福本充治委員 と 杉本泰代委員 をお願いしたいと思います。

お二人には、後日、事務局がまとめました議事録をご確認の上、署名をお願いいたします。

4 議事

事務局

次に、次第の「4」、議事に移ります。8月に開催しました第1回の総合教育会議

(熊谷企画政策課長)

において、同時点における「令和6年度の子ども政策の一元化に向けた組織改正の方向性等」について、現状の報告を行った上で意見交換をさせていただきました。

そこで、1点目の議題としましては、令和5年12月定例議会の開会も来週に迫っておりますので、現段階において、子ども政策に関する組織改正を含めた町行政改革を取りまとめております、行政改革推進本部における「子育て支援体制構築部会」の進捗状況等について、資料は2ページでございますが、大枠を沖汐町長よりご説明申し上げ、事務的な部分や詳細については、森田総務部長よりご説明申し上げます。

沖汐町長

私の方から大枠ですけれども、まず、教育委員会を中心に「こどもえがお課」を創設させていただくということで、正式に名称も決定しました。この名称で、今後必要な改正を行っていきます。執務場所については、特別支援の子どもを含め、幼稚園や保育所など、子どもたちの窓口の一元化ということで、行政棟2階フロアに全てを集約する予定です。

また、教育委員会からの要望が強くあった学校関係の施設の修繕や設計については、教育委員会に担当を置いて、まちづくり課の方と分けるような動きをとりながら進めていく予定です。

次に、適応指導教室について、現在、不登校の問題が非常に大きいため、中央公民館跡地に適応指導教室を移動するとともに、先の9月議会でクーラー等の予算措置を行い、大枠では移転・改修できるようにしていますが、来年度予算において、トイレについても予算化する方向で調整しており、何とかこれで一つの不登校の子どもたちの拠点として、内容的に充実していくのではないかと考えています。

文化会館については、今回、どこが悪くてどこを緊急に修繕する必要があるかなどの診断結果をいただいておりますので、早急に直さないといけないAランクの部分を中心に実施設計を行い、経費を見た上で今後改修していくということになります。しかしながら、国の緊防債という起債が令和7年まで措置があったのですが、これも延長になるだろうということで、現在、文化会館の大規模改修において診断を受けている部分については早急に実施する必要があると考えていますが、最終的には予算の中で決定していこうと思っています。

さらに、地区公民館についても、文化会館や保健福祉会館を改修する際、斑鳩公民館や石海公民館を移動させ複合施設とすることで補助金を充てることもできるため、併せて検討したいと考えています。

大枠は以上です。それでは、詳細は森田部長にお任せします。

森田総務部長

町長の方からお話いただいたとおりでございますが、前回の総合教育会議で、令和6年4月にこども課(仮)を設置し、こども課(仮)、管理課、社会教育課を行政棟の2階フロアに集約する、子育て関連の課をまとめるということで準備を進めていることをお話させていただきました。そのこども課(仮)の名前が、正式に「こどもえがお課」という名称で進めるということで、現在調整をしているところでございます。

また、組織再編に伴う補正予算は、12月の定例議会に上程させていただきまして、可決後に、案内用のサインや執務室のレイアウト等に取りかかり、令和6年3月までに完了する予定で取り組んでおります。

さらに、困難事例等の相談にも同フロアで対応できるよう、東側にございます、現行政ギャラリーの部分に相談室を作り、そちらの方で相談等を受けることができる体制をとりたいと思っています。

その他、組織再編に関わります例規整備については、12月の定例議会、また、3月の定例議会に上程させていただき、整備の方を進めたいと考えております。

次に、旧庁舎の活用に伴い、移転することとなりました適応指導教室については、9月定例議会において改修に係る補正予算が可決され、来年4月の開設に向けて取組を進めているところでございます。また、設置に係る例規整備については、3月の定例議会で上程させていただく予定です。

次に、開館から30年を迎えます文化会館ですが、令和6年度に大規模改修に係る実施設計の予算計上をさせていただき予定で現在事務を進めているところです。

最後に、令和5年11月6日に開催しました社会教育審議会において、公民館の統合について色々ご意見をお伺いしたところ、地区公民館の機能廃止ではなく、機能移転や文化会館などへの複合化を進めることで、委員の方々から前向きなご意見をいただいたということで、この場でご報告をさせていただきたいと思っております。

私からは以上でございます。

事務局

ありがとうございます。

(熊谷企画政策課長)

資料については2ページの部分でございました。それでは、教育委員の皆さんからのご意見をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

福田教育委員

「こどもえがお課」という新しい課を作っていくということが具体的になってきていること。また、行政棟2階に教育委員会を集約し、1本のラインで子育て支援を行うということ。これは非常に画期的なことで、良い取組であると本当に感謝しております。

是非、これを太子町の教育の目玉に置いていただきたいところですが、後は本日の定例教育委員会においても、関連の規則の改正などの話がありましたが、その際に新しく係や業務が移管されてくる中で、人の配置という部分が気になります。実際に子育て相談や児童虐待の相談があった時に、それに対応できる人が足りているか、また、幼稚園や保育所、認定こども園などの業務が全部集中することになりますので、しっかりと現場の声を聞いて、保護者に安心していただくべく、対応する職員の手厚い集中をお願いしたいと思います。もちろん、全体のバランスの中で限界はありますし、走りながらにはなるとは思いますが、特に1年目は手厚くお願いしたいと考えています。

将来的には、やはり専門的な方の配置です。例えば、児童虐待の相談を受けたとしても、中々、一般職員の方で即座に問題を解決することは難しいと思っておりますので、ご検討をお願いいたします。

現在は、児童相談所の機能が全て福祉部門の方に回ってきており、昔は県の児童相談

所が対応していた業務も、市町でやらなければいけないようになっていくと承知していますがいかがでしょうか。

嶋津生活福祉部長 令和6年度からは、各市町で「こども家庭センター」を設置しなさいということになっております。

福田教育委員 となると、やはり様々な専門家を柔軟に配置できるようにしなければならないと思いますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

福本教育委員 やはり人材の確保が重要です。県の方から地方に業務が下りてくるということで、例えば、県の方から知識を教示いただけるというようなことはあるのでしょうか。とにかく、町民の皆さんの利便性がより高くなるよう、人材も専門職ということで、もしかしたら取り合いになるかもしれませんので、何か太子町としてアピールできるものがあれば良いのではないかと考えています。

杉本教育委員 今までバラバラだったものが一つのフロアに集約されるということで、私自身、4月からが非常に楽しみです、一方で、実際学童保育の方も大変で、働いてる先生又は利用者それぞれの意見について、知り合いなどから聞いたりするのですが、例えば、太田と龍田では利用できる学年が違うことなどについてです。また、現場で働いてる先生間同士で、中々上手く連携が取れていない部分もあるようです。このあたりについても、集約されることにより、円滑に進んでいけばと思っています。

沖汐町長 学童保育園については、太田も龍田も6年生まで受入可能です。現在では、学校間で特に差はなく、お断りするということはないと思います。

杉本教育委員 分かりました。ありがとうございます。

竹澤教育委員 今回の子育て支援に関する話が非常に早く進んでいて、また、名称も「こどもえがお課」ということで、非常に良い名前だと私自身感じています。

また、新たな適応指導教室を作っていただくということで、全国的には5%ほどが不登校で、太子町はそれよりも少し多いと承知しています。私自身、不登校の児童たちと関わることがあるのですが、やはり、夢をもてる、将来こんなふうになりたいという声を出していける場所があり、そういった声を聞けることで、親も楽になり、周りの大人もそれなりの方向性を示してあげられると思います。ですので、この教室でもたくさん子どもたちがハードルを低くして、そこへ行けば何でも聞いてもらえるという、気軽に関わっていける施設になることを強く希望しています。是非、専門性のある方の配置、人員の確保についても、よろしくお願いいたします。

沖汐町長 来年度、龍田幼稚園が休園ということになりましたら、園の先生方を他の園に異動し

たり、それから教育委員会内部にも入っていただいて、幼稚園や保育園の連携もとってということもあるかもしれません。また、適応指導教室の関係でも、施設の充実という中で人員のことも考えていかなければなりません。いずれにしても、様々な部分で連携を強めるという方向性で教育委員会の方も動いていただいていますので、少し時間はかかるかもしれませんが、問題はないのではないかと考えています。

事務局

(熊谷企画政策課長)

それでは、この1点目の議題、組織改編関係及び行革に関する部分につきましては、いただきましたご意見を参考に、令和6年4月の施行に向けて取組を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、2点目の令和6年度教育委員会各所管の重点項目についてでございます。先週、庁内各所属の令和6年度予算要求が締め切られたところですが、早速、12月からは予算の一次査定がスタートしてまいります。

そこで、この総合教育会議に先立ち、教育委員会の各所管からの令和6年度予算要求に関する意見、及び先月の定例教育委員会での教育委員の皆さんからの意見を踏まえました重点事項について、取りまとめ結果を教育委員会部局より提出いただいております。資料は3ページから6ページでございます。

まず、このことについて、森教育次長より、主たる項目などを中心にご説明をお願いしますでしょうか。

森教育次長

本件につきましては、管理課所管が7件、社会教育課所管が4件、文化推進課所管が2件、合計13件について、令和6年度の重点事項として挙げておりますが、この中から、新規事業事業を中心に説明させていただきます。

まず、3ページ・4ページの管理課所管についてですが、一つ目は、太子西中学校校舎トイレ改修事業でございます。これについては、ご承知のとおり、太子町議会500回記念事業におきまして、中学生議会で太子西中学校の生徒より同校の便器の洋式化を進めてほしいとの声があり、現場が行政を動かし、実現が加速したものでございます。今年度、既に実施設計を行っていますが、これに基づいて、令和6年度に南校舎、令和7年度に北校舎を改修するというものでございます。

続いて、「話」と「和」でつながる言語認識能力育成事業で、具体的には3つございます。国語科指導充実事業、外国語指導事業、学校司書配置事業であります。

大学教授指導のもと、小学校国語科の話す・聞く領域に注力した事業研究、小学校英語科のALTを活用した授業実践のためのALTの2名増員など、当町の子どもたちにとっては何れも大切な事業であると考えております。

続いて、学校給食材料等管理事業です。昨今の物価高騰の中、当町では、保護者負担を増やさないということを基本としまして、現状でできる限りの支援を行いつつ運営していますが、大変厳しい状況となっております。そのような中、今年度の給食会計の公会計化に伴いまして、給食用賄い材料費を一般会計に計上させていただいておりますが、子どもたちの健全な心身の発達に寄与する学校給食を継続的に提供するために、来

年度も安定的に材料の確保管理を行おうとするものでございます。

続いて、5 ページの社会教育課所管についてですが、まずは、新規事業として公民館の機能移転でございます。これについては、この後に説明いたします文化推進課の文化会館改修事業と重なる部分もありますが、先ほどの子育て支援体制構築部会の進捗状況の説明の中で、町長や総務部長も触れられたように、築 25 年から 30 年を迎えた保健福祉会館、文化会館の大規模改修に合わせた中での公民館施設の機能移転を検討しているものでございます。

先般の社会教育審議会で、機能の複合化、集約化の方向性については、委員より前向きな意見をいただいておりますので、今後は具体的に、斑鳩公民館を文化会館に、石海公民館を保健福祉会館に移転させることを基本として、大規模改修計画との連携調整を図るものでございます。

続いて 6 ページの文化推進課所管、文化会館改修事業でございます。先ほども触れましたが、文化会館は今年で築 30 年となり、施設の経年劣化も見られることから、令和 7 年度の改修を目指して、今年度、既に基本設計を実施中であり、その内容に基づいて、これからの施設のあり方も含めて検討した上で、来年度は実施設計を作成することとしております。

以上が令和 6 年度教育委員会現所管の重点事項の説明となります。今年度、教育委員会は、町長公約の大きな柱である令和 6 年 4 月の子育て窓口の一本化に向けて、大がかりな準備を進めてまいりました。来年度においては組織も大きくなり、責任も増え、新たな教育委員会としてこれ以外にも多くの事業を予定しており、どれも大切な事業と考えておりますので、ご理解ご配慮のほどよろしく願いいたします。

事務局

(熊谷企画政策課長)

それでは、教育委員の皆さんからご意見などありましたら、よろしく願いいたします。

福田教育委員

やはり人的なことになるのですが、財源というところで中々難しい点もあると思いますが、新規事業の中の言語認識能力育成事業。これは、義務教育の中で一番の柱になり、教育委員会として最も大事にしている政策の一つです。例えば、ALT を増やしたり、大学教授の指導を入れたりということで、様々な面で大変なこともあるかもしれませんが、こういう国語力という部分は教育の基本であり、全ての教科につながりますので、太子町はここに力を入れているということで、取組を 1 年だけで終わらすのではなく、継続的にしていくことが重要です。実際に他市町において成功しているところは、やはり大学と現場との連携を長期的に図っているところであり、現場での状況を大学へ返して分析し、また現場で実施する。それによって子どもたちの力がすごく伸びていることは周知のことですので、太子町はこういうところをメインでやっているということは大々的に出して行ってほしいと思います。

福本教育委員

他団体からの人口の流入という意味でも、どのような子どもを育てたいかという分かりやすい形で示すことも必要かと思いました。また、今回、トイレの洋式化のことが出

てますが、生徒の分だけでなく、教職員の部分でもご配慮をいただければありがたいと思います。斑鳩小学校でそのような状況があると承知しています。

糸井教育長

その点については、頭出しはしていませんが、令和6年度予算に盛り込んでいるところ です。

杉本教育委員

新規事業の幼児体力アップ事業、幼児リズム体操については、他の幼稚園で見たこと がありますが、非常に良い取組だと思えます。今はすぐに怪我をしたり、また、先ほど の予算のところでも、全国や県大会に出場する子が増えてきて、予算をアップしたとい うことも聞いています。もちろん、そういうところにもつながっていくことと思えます ので、よろしくお願ひします。

竹澤教育委員

私も、幼児や子どもたちは、小さい頃から運動を続けていることで目標をもち、伸び ていくことを身に染みて感じています。これも先ほど福田委員のおっしゃったように、 1年だけでなく、継続して実施していくものであり、太子町では小さい頃から体力を付 けていく、それによって集中力も付くといったようにつながっていくと思えますので、 是非、よろしくお願ひします。

また、学力という点で、どうしたら全国と比べても上がっていくのかと考えた時に、 やはり国語力、これが非常に大事だと感じています。是非、この部分についても継続し てよろしくお願ひしたいと思ひます。

沖汐町長

詳細は、予算協議の中でさせていただければと思ひますが、大枠として、太子西中学 校のトイレについては、昨年度からの子どもたちの願ひですので、実現を目指してやっ ていく予定です。金額が現段階では不明な部分がありますが、2年計画の中で、最優先 の問題として捉えています。

また、新規でいえば、言語認識能力育成事業の特に国語という部分については、読み 取る力というのは数学などの文章を含めて基本です。また、体力という部分では、この 幼児体力アップ事業、リズム運動については、宍粟市の方での実績例などもありますの で、この2つの事業は是非進めていきたいと思ひています。

ALTの増員については、これを増員するのが効果的なのか、現状日本人の方で英語の 支援員の方も悪くないと思ひています。このあたりは、教育委員会の方でまた予算協議 の中で調整していただければと考えています。

なお、給食費については、今のところ12月から令和6年3月までについて、物価高 騰対策として無償とすることで12月議会に上程することとしています。値上げも検討 すべきところですが、太子町は他団体に比べてやや価格が高いというところもあり、令 和6年度は様子見になると考えています。しかしながら、物価高のことも考慮し、給食 費の適正額がどのあたりなのかというところについて、近隣市町等の状況なども把握し ながら検討を進めていく必要はあると思ひています。

榮藤副町長 町長は特に教育に見識が深いので、熱心に重点的にやろうという気持ちをもたれて
 います。一方、全体のバランスもありますので、今後、予算査定の中で実際に所管課
 の話も聞きながら、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

福田教育委員 バランスというのも理解できますが、他の団体ではそのように傾注して実施されてい
 るところもありますので、こういった子どもの施策は100年後を見据えてということで、
 是非検討いただければと思っています。

沖汐町長 やはりバランスの部分が非常に難しいです。一つに集中すると他にしわ寄せがいくと
 い現実もあります。施設、高齢者施策、道路など、様々な課題がありますので、有利な
 補助金などの状況も確認しながら、任期の中で計画的に実施していければと考えていま
 す。

事務局 ありがとうございます。それでは、2点目の令和6年度教育委員会各所管の重点項
 目については、いただきましたご意見などを参考としながら、予算査定の中でも協議を
 進めてまいります。

5 その他

事務局 次に、次第の「5」、その他に移ります。何か別の案件でも結構ですけども、せっか
 (熊谷企画政策課長) くの機会ですので、ご質問やご意見等がございましたら、よろしくお願
 います。

沖汐町長 今後、ギガスクール、タブレットの置換業務の時期が到来してきます。財政課との協
 議も必要ですが、非常に大きな問題ですので、使用期間を延ばすなどの対応も今後検討
 する必要があると思っていますので、よろしくお願
 います。

6 閉会

事務局 ありがとうございます。

(熊谷企画政策課長) それでは議事は全て終了いたしましたので、閉会ということで、糸井教育長からご挨拶
 を頂戴いたします。

糸井教育長 本日、第2回の総合教育会議ということで、関係の皆様、本当にありがとうございました。

教育委員の皆さんから様々な前向きな意見を言っていただきました。その中で、福田
 委員がおっしゃった「教育は100年の計」ということは私も思っているところでござい
 ます。今日に見えなくても、やはり子どもたちが育つということは、このまちの未来に
 大きく関わってくることでありますので、改めてお願いをしたいと思います。

それと、やはり目に見えるものも大事です。来年度の「こどもえがお課」の新設に向
 けて、4月から教育委員会一丸となって走ってきました。また、新しい教育支援センタ
 ーの開設についても、町長部局の皆さんと協働しながら進めることができたと思ってい

ます。こういった目に見えるところで、自分が子育てでこんなに公的なところで助けてもらった、この人に助けてもらえて良かったなど、そういうことが実感できるような教育委員会でありたいと考えています。

もちろん、学校教育だけでなく、社会教育、それから福祉の方につながっていくような、広い教育委員会でありたいとも思っていますが、そのためにはやはりお金と人が必要であるということも再度お願いを申し上げて、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。